



大人になれたことの喜び、感謝 「町の宝」は大人になり、本当の輝きを放ちだす 大津町成人式

1月10日、「平成22年大津町成人式」が町文化ホールで開かれ、新成人の門出を祝いました。今回成人を迎えたのは、平成元年4月2日から平成2年4月1日までに生まれた444人です。式は、新成人で構成した成人式実行委員会が内容を決定し、運営まで行いました。



オープニングでの実行委員有志による「大津太鼓」の披露や恩師の登壇に会場は盛り上がりました。
また今年の式には参加することができなくなった同級生、恩師の先生がいました。式では、その人たちに向けて全員で黙とうをささげ、冥福を祈りました。全員が大人になることの責任、幸せをかみしめた素晴らしい式でした。
式終了後、会場ではあちこちで記念撮影が行われ、新成人たちは久しぶりに会う旧友といつまでも語り合っていました。



大人の自覚 素晴らしい式にするために…

「成人式ってそんなに大切な式でもないって思っていたんです」荒木さんはこう話し始めた。しかし会の活動で、大人になることの重みを知った。「だから、一生に一度しかないイベントを心に残る式にしたかったんです」と話す。そこで考えたのが大津太鼓の披露だった。素人同然の実行委員が厳しい指導を受けながら練習に励んだ結果、素晴らしい披露ができた。亡き友や先生に向けた黙とうも実行委員会で自然と出てきた提案だった。
「式はいろんな人のご協力があったからこそ開催できました。そして、ここまで育ててくれた親にも感謝したいです」そう語る荒木さんは、もう大人の顔になっていた。

あらき みさと
成人式実行委員会会長 荒木 美里さん



1本の読み聞かせも行われました
2ウルトラマンサンタが子どもたちとゲームを楽しみました
3ボランティアの翔陽高校の生徒。いろいろなお手伝いをしてもらいました



町から「町の宝」へのプレゼント イルミネーションに負けない子どもたちの目の輝き

★キラキラ★ おーえんずフェスタ

イベント「大津町の中心で愛を叫ぶ」ではたくさんの人たちが愛を叫びました。



昨年12月23日、町子育て・健診センターで「★キラキラ★おーえんずフェスタ」を開催しました。昨年10月に開所した同センターの開所を記念するとともに、子どもたちへのクリスマスプレゼントとして企画したものです。当日は多くの親子連れでにぎわい、ステージイベントや親子製作など各種コーナーで子どもたちの笑顔が溢れていました。
夕方のイルミネーション点灯式ではサンタさんと一緒に点灯を見守りました。イルミネーションは28日まで点灯し、年末の町を彩っていました。

ここは子育てしている人たちのためのよりどころ

「とにかく、子育て・健診センターを知ってもらいたいのが一番ですね」と語る佐藤さん。町からのクリスマスプレゼントである今回のイベントをセンター長として尽力した。町とセンターの思いが一つになり、若草児童学園などからの積極的な協力でフェスタには800人以上の人が訪れた。今回の企てで「多くの協力があり良いイベントになれば、多くの人が参加してくれる」ことを知った。これは、今後イベントを考える際にも生かせるはず。



さとう しんじ
町子育て支援センター長 佐藤 真二さん